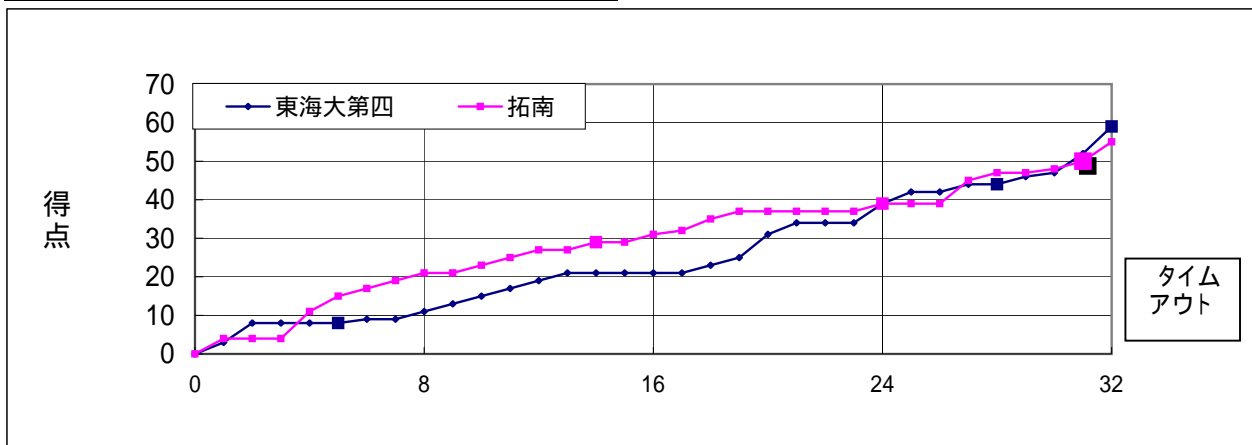


試合区分	1日目	予選リーグB	1GA2															
期日	2010年(平成22年)8月23日(月)		10:50															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	東海大第四 (北海道)	59	55 拓南 (愛媛)															
		<table border="1"> <tr><td>11</td><td>-</td><td>21</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td><td>10</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>8</td></tr> <tr><td>20</td><td>-</td><td>16</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	11	-	21	10	-	10	18	-	8	20	-	16	-	-	-	
11	-	21																
10	-	10																
18	-	8																
20	-	16																
-	-	-																
審判	主審	長谷川 裕	副審	塩沢 建樹														



東海大第四

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中村 圭佑 (C)	5	0	1	3	2
5	* 本間 謙太郎	7	1	2	0	2
6	* 山下 隼	20	2	5	4	3
7	* 大澤 駿介	12	3	0	3	2
8	牛木 亮佑	0	0	0	0	0
9	田中 恵優	-	-	-	-	-
10	富樫 龍矢	-	-	-	-	-
11	因幡 俊太郎	-	-	-	-	-
12	伊藤 拓弥	-	-	-	-	-
13	中内 智也	0	0	0	0	0
14	白旗 優一	5	0	2	1	3
15	* 内田 巨人	10	1	3	1	1
16	新濱 聖	-	-	-	-	-
17	今井 隼	-	-	-	-	-
18	宮崎 哲郎	-	-	-	-	-
コーチ	嶋村 圭太					
合計		59	7	13	12	13

拓南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 高岡 祐士 (C)	7	1	2	0	3
5	* 宮内 和真	9	1	2	2	4
6	* 渡部 裕地	23	2	8	1	2
7	松岡 朋弥	-	-	-	-	-
8	山下 平悟	-	-	-	-	-
9	重信 光季	-	-	-	-	-
10	* 天野 祐希	2	0	1	0	1
11	* 苗田 将輝	14	1	5	1	5
12	高石 将一朗	0	0	0	0	0
13	杉本 和希	-	-	-	-	-
14	永井 慎	-	-	-	-	-
15	橋 十志貴	-	-	-	-	-
16	武田 虎之介	-	-	-	-	-
17	富谷 寛	-	-	-	-	-
18	沖田 剛	-	-	-	-	-
コーチ	尾下 桂子					
合計		55	5	18	4	15

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

両チームともマンツーマンDefでスタート。東海大が#7の3Pで先制。東海大は#4、#7を中心にドライブからアウトサイドへパスを展開し、3Pを狙うがなかなか決まらず。それに対し拓南は、スクリーンプレイから#11、ポストプレイから#6が確実に得点を決め、1Qは11-21で拓南がリードして終える。2Qの最初、東海大はDefでプレッシャーをかけターンオーバーを誘い、速攻で得点を重ねる。4分を過ぎたところで、19-25と6点差に詰め寄り。しかし拓南は落ち着きを取り戻し、#6を中心に確実に得点を重ね、21-31で前半を終える。

3Q、東海大はオールコートマンツーマンDefを仕掛ける。拓南のターンオーバーを誘い、速攻からリズムをつかむ。前半なかなか決まらなかった3Pも入りだし、39-39と同点で3Qを終える。4Qは、東海大がDefを1-1-3へ変化させる。拓南はゾーンに対し冷静に対応し、#6、#5が3Pを決める。残り4分30秒、東海大はタイムアウトを取り、Defをハーフコートマンツーマンに戻す。Defからリズムを取り戻した東海大は、#6が難しいドライブシュートを2本連続で決める。拓南は、残り1分47秒でタイムアウト。ファウルゲームを仕掛け、#6の連続シュートで残り13.8秒の時点で3点差まで追いつく。しかし、東海大の各選手がフリースローを落ち着いて決め、59-55で東海大が接戦を制した。

記者 木佐木 太郎 (所属) 広島